

ソーシャルメディア（Twitter）の活用について

1 現状

食の安全・安心に関する情報等を伝えるツールとして、従前からインターネットを活用しているが、特に、若い世代への情報提供のためのツールとして、ソーシャルメディア（Twitter）を活用している。

しかし、インプレッション数（ツイートが表示された回数）やフォロワー数が増えず、課題となっている。

2 今後の対応

課題解決の方法として、次の対応をとることとする。

(1) Twitter のアカウントを食の安全・安心に係る専用アカウントとする。

現行のアカウントは所属名で登録しているため、県ホームページの公式アカウント一覧には「神奈川県庁生活衛生課」と表記されている。

このため、アカウント名を「食の安全・安心」等、県民に理解されやすい名称に変更する。

(2) ツイート頻度の見直し

昨年度のツイート数は 30 件に留まり、Twitter の即時性に対応できていない。

このため、広報部局と相談し、週 2 回のツイートを目指して、計画的に情報発信を行っていく。

(3) 県庁広報 Twitter によるリツイートの活用

県庁広報 Twitter は、約 15 万人のフォロワーがいるため、当課でツイート後にリツイートを依頼し、より多くの県民に情報発信を行う。

(4) ツイート内容の強化

従来は、当課で行う講座等や食中毒の発生に係る情報等を周知していたが、食品安全委員会が発信している情報や食の安全・安心推進会議幹事会の各課の情報等についても発信していく。

(5) ハッシュタグの活用

同じハッシュタグをもつ他のツイートからも当 Twitter に辿り着けるよう、ハッシュタグを活用する。

(6) Twitter の周知

当 Twitter の存在を知ってもらうため、ホームページや様々な広報物を活用した周知を行う。